

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名: ニチイケアセンター 陽丘

作成日: 2025年 10月 13日

作成者: 中西 祥太

運営推進会議における評価実施日: 2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	配点	評価 結果	コメント
I. 理念・安心と安全に基づく運営						
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A			基本的な人権の尊重、健全育成・保護の受給、社会的自立の助長、地域福祉への貢献。「第二の我が家」をホームの理念にあげている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	C			町内会に加入し、地域内の様々な情報を提供して頂いている。また、運営推進会議で地域のイベントや取り組み、課題等について情報交換している。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見やサービスを向上に活かしている	A			理事サービスの実施について報告し、ご家族や第三者からの助言を頂き、更なるサービスの向上に努める。
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えるながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B			社会福祉協議会をはじめ、区役所や大阪市の介護保険課等とも連絡をとりやすい関係を構築できるように努めている。
5	身体拘束をしないケアの実践	介護者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、互いの施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B			定期的な勉強会・身体拘束防止委員会を実施し身体拘束について学ぶ機会を設けている。個別面談も一人で行って頂きながら取り組んでいる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法に基づいて学ぶ機会を待ち、利用者の自害や事業所内での虐待が見逃されることがないよう注意を払い、防止に努めている	A			職員がいつでも閲覧できるように、各フロアに関係資料を配布している。また、勉強会の定期テーマとして組み込み、新職員にとっては学習・在職員にとっては復習ができるようブローカーしている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を待ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A			本館内館を運営するとともに虐待実態チェックリストを3ヶ月間に行っている。

帳票C

受付

- 8.3.13

福祉局高齢者施策部
介護保険課

天海

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター 陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	現状	改善 計画	評価
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A	職員がいつでも閲覧できるよう、各フロアに関係資料を配布している。また、勉強会の定期テーマとして組み込み、新職員にとっては学習・在職員にとっては復習ができるようプログラムしている。	A	左記内容を実施するとともに虐待実施チェックリストを3ヶ月間に1回行っている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A	各種公的機関等から資料を収集して学習の機会を設け、必要に応じてご家族への情報提供を行っている。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター太陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	施設	家族 自己評価
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A	十分な説明と話し合いを実施し、契約後も不安・疑問点には速やかに対応を努めている。	
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A	ご家族からの要望や相談があれば、直ぐに内容をお聞きし検討、運営者への報告し解決できるよう努めている。	ご家族が相談しやすいように日頃より密接にコミュニケーションを図っている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B	職員用意見箱を勤怠打刻場所に設置し定期的に意見用紙の回収している。また、管理者会議において、現場から出た意見について話し合っている。	
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A	個々の能力に合わせた業務内容も変更を実施。職員からの提案があれば、できるかぎり取り入れるよう支援している。	A スタッフが働きやすい環境づくりを行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B	職員が学習したいテーマを出し合い、それに沿った内容で勉強会を開催すること質問ができる環境づくりに努めている。	B スタッフが学びたい勉強会を開催しているが個人の力量に応じて理解できている所までは実施できていない。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチイケアセンター 陽丘

作成者： 中西祥太

作成日： 2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日： 2026 年 2 月 25 日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	施設	担当者	評価
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	B	当社系列の他拠点との連携をとり、サービ スや環境整備の相互チェックを行っている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おかず、暮らしを共にする者同士の関係を 築いている	B	職員は利用者を人生の先輩として尊重し、 様々なことを学びながら日々の暮らし・食 事・レクリエーション等を共に楽しむよう心か けている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にできてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支援 に努めている	A	面会や外出など本人様が今まで大切にされ てきた人や、場所との関係性を積極的に とっていただいている。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター 陽丘

作成者： 中西祥太

作成日： 2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日： 2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	関係 機関	外部 評価
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A	本人が意思疎通困難な場合は、ご家族に意向や過去の生活歴等を伺い、本人本位の生活が送れるように支援している。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	A	個別の毎日チェック表を実施。カンファレンスや毎日の申し送り時に気になったことの報告・話し合いをする。また、定期的なフロア会議でケアの統一化に努めている。外部の医療機関とも連携をとり相談をしている。	A	記述通り行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	A	毎日のケアプランのチェック表を作成し一か月ごとに評価している。チェック表はその日の出勤者が行うので、ケアプランの確認ができ、特記の欄には今ではなかった事などを記入してもらい、情報共有をしている。	A	記述通り行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	B	本人やご家族の状況を把握し、出来るかぎり柔軟な対応を出来るよう、努めている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	B	残存能力やニーズをしっかり把握し、多様なサービスを組み合わせながら支援できるように努めている。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター 陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	外部 評価
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係構築ながら、適切な医療を受けら れるように支援している	A	適切な医療が受けられるよう、本人やご家 族へのアドバイスを行い、状態によっては受 診の付き添い等も行っている。	

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年10月13日

運営推進会議における評価実施日：2026年2月25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	外部評価 結果	記述
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	医療機関と連絡を密にとり、情報交換を行っている。	A	入院先の医師と連携を図り、退院時にはADLの聞き取りのためカンファレンスに参加している。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	A	段階的にご家族に報告・意向の確認を行いながら、本人にとって一番よい環境へ以降できるように小まめにご家族や本人の意向を聞き取りするように努めている。グループホームで出来ないと出来ない事を医療機関と共に説明しチームで支援できるように取り組んでいる。	A	食事形態や生活状況の変化を早い段階から見極めご家族と連携を図っている。また、本人の意向を確認し一歩良い環境への提案に取り組んでいる。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	B	急変時のマニュアル作成し、いつでも閲覧できるように努めている。その他の初期対応については定期勉強会実施。急変時が行った後は振り返りを行いスタッフで情報共有している。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	A	運営推進会議で有事の際における協力や呼びかけており、火災報知器等の設備面や非常時の対応について、利用者参加型の訓練を実施している。	A	2月17日に消防訓練を実施。利用者とご家族に参加頂き職員が訓練法や対応を学ぶことができた。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンタータ陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	外部評価	備考
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	B	認知症の進行の度合いや理解度に個人差 があるが、各人の状態に応じた対応を行 い、人格や自尊心を尊重出来るよう努めてい る。	B	施設全体としては指導しているが、スタッフ自身の 問題で全員ができていないか自問自答している最中 である。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希望 や意向、暮らしのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	B	ある程度一日の流れは決まっているが、行 事や本人の体調・希望に応じて柔軟に変更 するよう努めている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員 が一緒に準備や食事、片付けをしている	A	各人の能力や得意・不得意に応じて可能な 家事は手伝って頂いています。	A	食事前に利用者が可能なことは最大限行っていた だけよう心掛けている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	A	各人の摂取状態等を見極め、形態の変更を 工夫し分量の調整を行い、快適に飲食がで きるように支援している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に 応じた口腔ケアをしている	A	食後の口腔ケアを行い、希望者には訪問歯 科の診療を導入している。	A	記述通り行っている。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター太陽丘
作成日：2025年 10月 13日

作成者：中西祥太
運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	外部 評価	記述
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A	尿意・便意のサインを逃さないことや場所が分からない方への誘導を行っている。	A	記述通り行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	B	個浴で対応し、体調や気分が優れない等に応じて調整や代替えを行っている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	B	各人の睡眠の状態や体調に合わせ、室温調整その他を行い、快適に休息できるよう支援している。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	何のために服薬をしているのかをしっかりと理解し、適切な支援が行えるよう努めている。	A	本人の服薬状況をしっかりと把握し、服薬の目的や副作用を理解している。日常生活の中で適切な支援が行えるよう努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	生活歴や嗜好を考慮し、各自が役割や楽しみをもってホームでの時間を過ごせるよう支援している。		

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記載	写真 を貼る 欄	評価
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	B	家族様にもご協力いただき、積極的に外出していただいている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	B	金銭は概ねホーム側で管理しているが、必要に応じて買い物物の援助を行っている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A	携帯電話を持参され自由に電話できる		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B	季節感を感じてもらう為、壁紙は季節の物を利用者と一緒に作成している。写真や作品を掲示を行っている。	A	季節感を感じてもらえるよう季節に応じた折り紙やちぎり絵などレクリエーションに組み込まれている。共用部分において陽が当たり明るい雰囲気で居心地の良い空間作りができてい

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンタータ陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	外部 評価	理由
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A	使い慣れた家具等を持参して頂けるようご家族に説明しています。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A	馴染みのある物を使用してもらったり、歩行不安定な方の居室内はクッション材を使用して、自由に動けるように支援している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A	医療機関と連絡を密にとり、情報交換を行っている状況確認・往診に伺う等の対応を行っている。	A	記述通り行っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	B	ご自身にあったペースで生活歴や嗜好を考慮し、過ごしてもらっている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B	お部屋に馴染みのある物を置いてもらっている。スタッフ間でも周知をし、会話の中でも話題に出している。	B	安全なもので本人の思い入れのある物を置くように心掛けているが、リスクがあった際にご家族に引き取りを依頼している。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチイケアセンター夕陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 25日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	外部評価	コメント
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	B		ご本人の希望を聞き出し、それに沿ったイベントを行っている。
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみことを行うことができている	B		日常生活の中で、出来ることをできる範囲で行っている。
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	B		好みや生活歴で、記憶に強く残っていることを日常会話で行っている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	B		地域の公民館で開催されているお茶会に出席している。
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A		それぞれの価値観や自尊心を尊重し、落ち着いた暮らしを提供している。
				A	常時、管理者より全職員に利用者がよりよい生活を送ることができるようサービスの提供に努めている。

総評

現状における ご指摘事項・事業所の課題

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチケアセンター陽丘

作成者：中西祥太

作成日：2025年 10月 13日

運営推進会議における評価実施日：2026 年 2 月 25 日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	経過	達成
	・理念、安心と安全に基づく運営について。 共用スペースにおいて職員がすぐ傍で対応できる体制づくりを行っている。 身体拘束を行わないケアや虐待が見過ごされることがないよう虐待チェックリストを使用し防止に努めている。 ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメントや日々の支援について。 入所前に本人の趣味や生活状況を聞き取り、ご本人とのコミュニケーションに役立てている。ご家族と常日頃から連携を図り、感染症予防を行った上でご家族と外出や旅行など一緒に過ごす時間を尊重している。	・運営推進会議にご家族や地域などの参加者を検討して頂きたい。 ・今後も年間スケジュールを立て、ご家族の参加を事前に行いながらさらに安全なレクリエーション実施と、地域ボランティアさんの積極的活用を継続して頂きたい。 ・社会資源のふれあい喫茶や認知症カフェへの参加、町内会との連携を図って頂きたい。			

参加者サイン欄

概要D

事業所名 ニチイケアセンタータ陽丘

作成日： 令和 8 年 3 月 10 日

作成者： 中西 祥太

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなってしまう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に 要する期間
1	9	事業所内での日常の様子や、取り組みをご家族様により知って頂く。	事業所内で行っている、イベント(誕生日会や季節のイベント)を家族様にも周知し、一緒に参加していただく。	6ヶ月
2	49	地域の活動にも積極的に参加して、関わりをもっていく。	ふれあい喫茶や認知症カフェだけでなく、その他の地域活動にも積極的に参加していき、交流を持っていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。